

令和4年度 数学科（数学B）シラバス

単位数	2 単位	学科・学年・学級	普通科 2年G, H組
教科書（出版社）	改訂版 新編 数学B (数研出版)	副教材（出版社）等	改訂版 ニューアクション 数学II+B (東京書籍)

1 学習の到達目標

数学の活用場面において基礎的・基本的な役割を果たすベクトル，数列について理解し，知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに，それらを活用する能力を身につけます。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価方法
1 学 期	4	第3章 数列	第1節 等差数列と等比数列	<ul style="list-style-type: none"> ・等差数列, 等比数列など, 簡単な数列について一般項や第 n 項までの和について理解させ, それらを用いて事象を数学的に考察し処理できるようにします。 ・記号Σや階差数列について学び, それらを用いて事象を数学的に考察し処理できるようにします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 (問題の解法・文章問題の解答) ・学習活動への参加の仕方や態度 ・授業プリント ・授業ノートのまとめ ・演習ノート ・小テスト
	5		1 数列と一般項		
	6		2 等差数列 3 等差数列の和 4 等比数列 5 等比数列の和		
	7		第2節 いろいろな数列 6 和の記号 Σ 7 階差数列 8 いろいろな数列の和		
2 学 期	9	第1章 平面上のベクトル	第3節 漸化式と 数学的帰納法	<ul style="list-style-type: none"> ・漸化式や数学的帰納法という新しい論理を学びます。 ・平面上のベクトルについてその意味, 相等, 加法, 減法, 実数倍について学びます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 (問題の解法・文章問題の解答) ・学習活動への参加の仕方や態度 ・授業プリント ・授業ノートのまとめ ・演習ノート ・小テスト
	10		9 漸化式 10 数学的帰納法		
	11		第1節 ベクトルとその演算		
	12		1 ベクトル 2 ベクトルの演算 3 ベクトルの成分 4 ベクトルの内積		

3 学 期	1	第2章 空間のベクトル	第2節 ベクトルと平面図形 5 位置ベクトル 6 ベクトルの図形への応用 7 図形のベクトルによる	・2つのベクトルのなす角や成分表示 に関連付けて、ベクトルの内積の意 味を学び、平面図形の考察に活用で きるようにします。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 (問題の解法・文章問題 の解答) ・学習活動への参加の仕 方や態度 ・授業プリント ・授業ノートのまとめ ・演習ノート ・小テスト
	2		表示	・空間におけるベクトルについても、平 面上のベクトルと同様であることを 学びます。	
	3		1 空間の点 2 空間のベクトル 3 ベクトルの成分 4 ベクトルの内積 5 ベクトルの図形への応用 6 座標空間における図形	・空間図形もベクトルで表せることを 学びます。	

3 評価の観点

関心・意欲・態度	ベクトル，数列または確率分布と統計的な推測に関心をもつとともに，それらを事象の考察に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとしているかどうか。
数学的な見方や考え方	事象を数学的に考察し表現したり，思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して，ベクトル，数列または確率分布と統計的な推測における数学的な見方や考え方を身につけているかどうか。
数学的な技能	ベクトル，数列または確率分布と統計的な推測において，事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身につけている。
知識・理解	ベクトル，数列または確率分布と統計的な推測における基本的な概念，原理・法則などを体系的に理解し，知識を身につけている。

4 評価の方法

各学期とも定期考査，授業態度，課題の提出状況，ノートチェック，出欠状況を鑑みて，「関心・意欲・態度」「数学的な見方や考え方」「数学的な技能」「知識・理解」の4観点から総合的に評価する。
--

5 メッセージ (確かな学力をつけるためのアドバイス，授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

<ul style="list-style-type: none"> ・数学は積み重ねの学問です。1日1日の授業を大切に，毎時間確実に理解できるようにしてください。また，問題練習を行い，解法の技術を身につけることが大切です。復習を兼ね，練習をたくさん行ってください。 ・理数系の進学では，必ず必要な科目です。応用問題も幅広く，受験でも数多く出題されています。基本ができれば難しい問題にも積極的に挑戦しましょう。
